

東海新報

2019年11月13日

茶道に理解深める

きらりんきつずママ講座

陸前高田

陸前高田市のNPO「育兒で忙しい母親たち法人・きらりんきつずママ（伊藤昌子理事長）は11日、高田町の災害公営住宅・県営栃ヶ沢アパート集会所で、きらりんママ講座を開いた。「茶道に親しみましょう」をテーマに、参加者たちが普段あまり触れることのない茶道の世界を体験し、和の心を学んだ。

この講座は、子育てに関する知識の向上や参加者が茶道の作法を学んだ



される栃庵抹茶倶楽部の岩崎たみ代さん（89）が務めた。

岩崎さんや同倶楽部のメンバ―指導のもと、茶席でのあいさつや立ち座りの仕方、歩き方、お点前をいただくときの正しいマナーなどを学習。「畳を歩くときは歩幅を狭めてすり足で」「お茶をいただくときは、お茶をたてた亭主に『お点前ちようだいいたします』と声をかける」という岩崎さんの指導を受けた参加者たちは、緊張の表情を見せながらも、教わった作法を実践し、日本の古き良き伝統に理解を深めた。

岩崎さんは「茶道人口の減少が進んでいる。このような機会をきっかけに、茶道に興味を持ってくれる人が増えていけば」と話していた。